



施設の紹介（理化学実験室）

運動栄養学科通信 Vol.48



はじめに

みなさん、こんにちは！ Vol.35で運動栄養学科施設の紹介がありましたが、今回は、運動栄養学科の授業で使用する施設のひとつである「**理化学実験室**」について少しご紹介しようと思います。

理化学実験室について

こちらの実験室は解剖・生理学実験、食品学実験、食品学実習、生化学実験などの授業で使用されます。また、実験室には普段使用できない薬品や実験器具が保管されており、それらを使い生体や食品に起こる事象を実験で再現し確認することで、より深く栄養学に関する知識を得ることができます。



実験室の様子

理化学実験室内の主な設備

ドラフトチャンバー

高性能な排気機能を有し、危険な薬品を取扱う際に使用します。



実験器具棚

三角フラスコ、ビーカーなど実験で使用する器具が収納されています。



実験で使用する器具の一例（生化学実験；溶液の調製法）

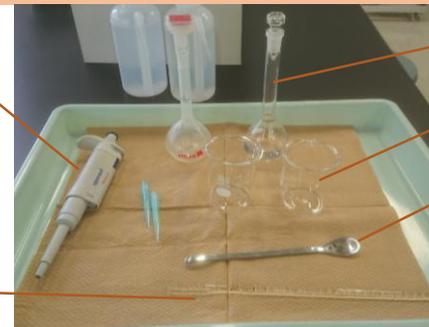
マイクロ
ピペット

メスフラスコ

ビーカー

薬さじ

ガラス棒



[学科概要ページのリンク](#)

[バックナンバーのリンク](#)

担当者：助教 野口翔